



* デンマーク生活便り ⑦ *

ノーマリゼーション Normalisering
理事長 千葉忠夫

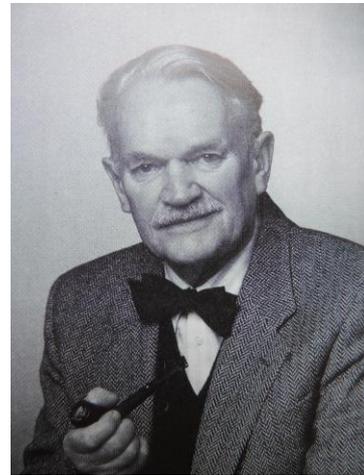
デンマークを訪れ、社会福祉国家デンマークの実体に触れた人は「キリスト教が影響していますか？」とよく問われる。デンマーク人に同じ質問をすると「デンマークが社会福祉国家になったのはキリスト教と無関係ではないかも知れないが、あまりキリスト教とは関係ない」と答える。

ノーマリゼーションの提唱者、私の師であるN.E. バンクミケルセンは敬虔なクリスチャンであるが「ノーマリゼーション」は「ヒューマニゼーション」であると言い、キリスト教の教えとは一線をおいているようだ。もしキリスト教が大きな影響を与えているのであればプロテスタントのデンマークよりもカソリック諸国の方がより早く社会福祉国家になっていたであろう。現実とはいえばデンマーク、ノルウェイ、スウェーデンとプロテスタント国家が社会福祉国家になっているのである。プロテスタントは教会の権威よりも人間性を尊重するからかも知れない。

今やデンマークの社会福祉はノーマリゼーションの理念を抜きにしては語れないほどになっている。ノーマリゼーションの理念は1950年代半ばに精神薄弱者の生活条件の向上を目的として提唱されたものであるが、現在では知的障がい者以外の社会福祉全ての分野で適応される考え方であると言っても過言ではない。

デンマークでノーマリゼーションが謳われたのは1950年代に遡るのでその経緯を紹介したい。1940年、デンマークはナチスドイツに占領され国民は完全に自由を奪われていた。当時コペンハーゲンで新聞記者をしていたバンクミケルセンはこよなく自由を尊ぶ人であった。ナチに占領されたデンマークでは国家の主権、国民の自由を奪われたことに怒り、バンクミケルセンは自由デンマークを訴え、ナチに反対するビラを作りコペンハーゲン市民に配っていた。

この反ナチ運動行為が発覚し、ナチに捕らえられたバンクミケルセンはドイツとの国境近くのナチ収容所に収容された。幸いにも1945年連合国の勝利により終戦となり、収容所から出たバンクミケルセンはコペンハーゲンに戻り社会省に就職した。配属先は精神薄弱課であった。



N.E.バンクミケルセン氏

職務柄自分の管轄下のデンマーク国内の精神薄弱者施設を訪問視察したバンクミケルセンは驚愕した。自分と同じデンマーク人が、かつて自分が収容されていたナチの収容所での生活と同じような生活を強いられていることを目にし憤りを感じたのである。バンクミケルセンは精神薄弱者の親の会の人たちと協力し合い、精神薄弱者の生活条件の向上を目指しノーマリゼーションを提唱するに至ったのである。1959年法とも呼ばれているが、法自体ではなくその説明文にノーマリゼーションが初めて記載されている。現代用語で説明すると「ノーマリゼーションとは知的障がい者の生活条件を可能な限り知的障がいを持たない者(普通の人)の生活条件に近づける」と謳ったのである。

デンマークにおいてノーマリゼーションを実践し始めたのは1980年代からで、これまで知的障がい者政策は国が行っていたが、地方分権政策に切り替え県の管轄に移行して行った。現在では2007年の行政改革で県が廃止され(5つの州と98の市町村 Kommune) 知的障がい者政策の殆どが市町村へと更に地方分権化されている。しかし、現在デンマークの社会福祉施設現場で勤務する若い生活指導教諭たちはバンクミケルセンの名前もノーマリゼーションという言葉も知らない者が殆どである。

社会福祉が発展し定着すると「福祉」という言葉は消滅していくのである。故に、デンマークの市町村には社会福祉課は無く「社会課」のみがある。社会福祉大学、社会福祉学部なども存在しない。デンマークの若者は社会福祉という言葉さえ知らない者が多い。それは彼らにとって既に空気のように当たり前な存在、意識する必要がない言葉なのである。

ブログ拝見「デンマークつれづれ3」
2013年4月22日付
今月発表の調査でも1位

日欧文化交流学院長 **銭本隆行**

今月に発表された幸福度調査でもデンマークは1位になっていました。NNA.EUの記事を以下引用します。ちなみに日本は44位でした。

~~~~~

北欧諸国の国民は世界で最も幸福度が高い。国際連合がコロンビア大学アース・インスティテュートに委託して行った「世界幸福度調査」から、そんな結果が明らかになった。

回答者が自分の幸福度を10点満点で答えたこの調査では、デンマーク、フィンランド、ノルウェーの北欧3カ国が上位を独占。スウェーデンも7位にランクインしている。さらに上位20カ国中12カ国がスイス、アイルランド、オーストリアなど欧州でも比較的北部に位置する国々だった。

これに対し、下位を占めたのはトーゴ、ベニン、中央アフリカ共和国などサハラ砂漠より南のアフリカ諸国で、いずれも貧困国。ただ幸福度は金銭的な豊かさだけでなく、政治的自由、社会のネットワーク、汚職や腐敗の有無にも左右されるという。また個人的なレベルでは、健康、頼れる人の存在、安定した仕事や家族の有無などが大きく影響し、中でもメンタルヘルスが最も重要な要素となっている。

この調査は国連がブータンで開催した「幸福に関する会議」で発表された。国連は国家の経済力を示す国内総生産（GDP）に対し、国民の幸福度を示す「国民総幸福量（GNH）」の導入を提唱。各国に自国民の幸福度を高めるよう呼びかけている。



## 理事退任と監事就任のご挨拶

監事 **太田克彦**（元副理事長兼事務局長）

私が当NPO法人のお手伝いをする端緒となったのは、川島前副理事長から千葉理事長のPHP新書（618）「世界一幸福な国デンマークの暮らし方」の寄贈を受け、福祉先進国デンマークについて、日本が見做すべきことがとても多いとの認識を強くさせられたのが始まりでした。その後2011年3月に姉妹編のPHP新書（720）「格差と貧困のないデンマーク」が出版されるとの話を聞き、4月22日に出版記念祝賀会を「日本外国特派員倶楽部（有楽町駅前）」に於いて開く企画に携わりましたところ、会場のキャパシティ溢れんばかりの約90名の参加があり、成功裡に実現することが出来ました。

祝賀会直前の3月11日に東日本大震災が発生し、交通機関の殆どがマヒ状態に陥ったほか、社会の風潮としてこの種会合の自粛が求められる状況となり、イベントを実施すること自体が危ぶまれるなかでの開催でしたが、全国各地から予想を上回る参加があり、また駐日デンマーク領事はじめ多くの方からお祝いのスピーチを頂き、千葉理事長の社会福祉分野での国内外での活動範囲の広さに敬服した次第です。

2年前に千葉理事長が当研究所の理事長に就任する際に、会員数も少なく、組織や体制が固まらない段階で全く勝手が判らない状況のもと、副理事長兼事務局長の任に当たらせて頂きました。それ以後、私なりに当研究所全体の活性化と事務体制作りを進めたつもりでしたが、思うように物事が進まないまま、一身上の都合で5月の総会時をもって夫々の任から外れ、今後は監事としてお手伝いをさせて頂くことになりました。千葉理事長以下会員の皆様にはその間大変お世話になり有難うございました。いろいろ不行き届きがあり不都合もあつたかと思いますが、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

理事として携わった期間が2年では短いとのご指摘があるかも知れませんが、1年毎に首相が代わるどころかの国もありますし、私にとりましては体力を消耗しストレスが溜まる長い期間でもありました。まだやり残したこともありますので、今後は監事の一員として、当研究所の全体をモニターしながら、微力ながらお役に立てればと思っております。

当研究所の今後の運営は、新体制のもと会員を増やし組織も充実させて次の世代を担う若いメンバーが中心となって活性化が図られ、当研究所の理念の啓発及び普及が進展し、我が国がより良い方向に向かうよう願っております。当研究所内での私の役割が替わっても、引き続きご交誼のほど宜しくお願い申し上げます。

平成 25 年 5 月 18 日

## \* 総会前後に考えたこと \*

副理事長 茂木俊郎

5月18日に開催された総会の質疑の中で「会報を読んでも当 NPO 法人の具体的な活動状況が分からない。」というご意見が出されました。

総会以前に何回かオブザーバーとして出席させていただいた理事会の席で「当 NPO 法人の会員にとって、会員であることのメリットは何なのかということを考えなくてはいけない」という問題提起もありました。

総会の終了後、千葉理事長から「時間があるので、皆さんが総理大臣になったとしたら何をしたいかを一人一つ発表してください。」という課題が出され、たとえば「教育権を政府から切り離し、司法・立法・行政・教育の4権分立を実現させる」など、各人が思いを述べました。一人一人の意見をうろ覚えで書き上げることはしませんが、これは一人一人が日本を本当の民主主義国家、生活大国にするために何が必要かを確認し啓発し合う作業だったと思います。

総会前後、広報担当として理事(副理事長)に就くにあたって前述の事柄をもとにあれこれと考えたことを書いてみたいと思います。

**NPO 法人日本・デンマーク生活研究所の会員としてのメリットは、何よりも誇りだろうと思います。**日本をデンマークのように本当の民主主義が実現した住み良い国にしたいという、千葉忠夫さんの理想に共鳴し活動している仲間たちを自分が支えている、自分もその仲間たちの一員であるという事実がもたらす誇りこそが第一のメリットだろうと思います。もちろんデンマークの福祉や政治についての情報が得られることも大きなメリットだと思いますが、会員の中のデンマーク事情に詳しい人にとっては特に重要なことではないでしょう。

そこで問題になるのは、当研究所の活動内容が本当に会員として支えるに足るものかどうか、ということです。活動報告はあるがどんな成果や進展、反応があったのかが分からないので、活動に対して評価のしようがなく不満が募るといのが、冒頭紹介した総会でのご意見なのだと思います。

会報の紙面には限りがありますが、研修塾での討論内容などは今までよりも詳しく紹介したいと思っています。各地での学習会は主催者の報告記事か参加者の感想をいただけるように努力しますが、いつもいつも斬新な意見が出たり

注目すべき進展があるというわけにはいかないでしょう。講演会での質問やご意見に関しては、講演者がその都度報告するのは過重なので、参加した会員なりが自発的に投稿して下さった場合には掲載できたらと思います。



自分の知らない会員にどんな人がいるのか、どんなことを考えているのかを知りたい人も多いのではないかと思います。総会か研修塾で出会った会員以外はいったいどんな人が仲間にいるのか分からないというのは不満、不安、不信、いずれかの元になりかねません。おそらくその観点から太田前事務局長は会員名簿の発行をお考えでしたが個人情報保護のために実現にいたりませんでした。

次号から紙面の一部を割いて、会員の意見交流の場を設けたいと考えています。投稿が殺到したら掲載しきれないのではないかと不安もありますが、もしそうならば大変けっこうなことだと思います。

同時に、当 NPO の趣旨にのっとった学習会・研修会を開いている会員は、その様子をお知らせください。継続的な会でも一時的な集まりでもかまいません。会員として講演などをなさった場合にも、その様子を皆さんにご披露いただければありがたいと思います。

## \* ご意見を募集します \*

次の点について会員の皆様のご意見を募集します。

1 NPO 法人「日本・デンマーク生活研究所」の会員として、デンマークの何についてより詳しく知りたいと感じていますか。

2 日本をデンマークのような「本当の民主主義の国」にするためにはデンマークのどんな所を見習うべきか、またどうしたらそれが実現できると考えていますか。

どちらか一つでもかまいません。紙面の都合もありますので、できるだけ簡潔に書いてください。郵送の場合は封筒の住所、e-mail の場合は [t.f.moteki@hb.tpl.jp](mailto:t.f.moteki@hb.tpl.jp) までお送りください。どちらも9月9日到着分まで一旦まとめます。

会報に乗せる場合、趣旨を変えずに文章を縮めたり一部分だけ取り上げることがあります。また匿名はご遠慮ください。

## \* 真の民主主義とは ⑦ \*

理事(事務局長) 前田正志

デンマークでは幼少期から民主主義を家庭や学校での生活で実践し、体得させることで民主主義社会をつくり出しています。日本はどうでしょうか。大人は子どもを「躰」という名目で非民主主義的に扱っていないでしょうか。学校、会社をはじめとする諸団体はきちんと民主主義的に運営されているでしょうか。テレビやインターネット、ゲームの世界では他人の尊厳をないがしろにするような番組・コンテンツがあふれていないでしょうか。そしてそのような状況を放置してはいないでしょうか。民主主義は国民が皆で育て、保持していかなくてはなりません。今一度、民主主義を育てる環境を自分たちでつくり出しているか考え、実現してゆきましょう。

### 【第7回の実践】

自分自身が民主主義を育て、広める環境をつくっているか考え、実践しよう。

## \* 通常総会のお知らせ \*

2014年度通常総会の日が決まりました。

☆ 2014年5月17日 土曜日

会場は、前回の総会と同様TKP小伝馬町ビジネスセンター(中央区日本橋小伝馬町1-4)にて行う予定です。時間等の詳細は別途通知致します。

## ☆新ホームページのお知らせ☆

当研究所のホームページのリニューアルに伴い、URLも変更になりました。これまで以上に内容の充実に向けてまいりますのでご意見・ご感想などお寄せ下さい！新URL <http://www.djsli.com>

## ★オフィシャル・メールマガジン

当法人に関するだけでなくデンマークや日本に関する情報も・・・ご希望のかたは、[djsli@hotmail.co.jp](mailto:djsli@hotmail.co.jp) まで「メルマガ希望」とお申し出ください。



**編集後記** 前任の野屋敷さんから編集の仕事を引き継いだときには、予定通り7月1日に発行するつもりでしたが、大幅に遅れることになってしまいました。3月の理事会で京都研修塾の在り方を従来と大きく変更したため2日目の会場探しに苦労していただき結果を待っていたのですが、ご心配をおかけしたことと思います。心からお詫び申し上げます。★日本を滅ぼそうとするかのような異常気象が続いています。この会報がお手元に届くころには少しは落ち着いてくれるでしょうか。ともあれ皆様のご無事を祈念しております。編集者 茂木もてきと読みます。

## ☆ 研修塾参加者募集 ☆

～Weekend Folkehøjskole in Kyoto～

・日本を住みよい国にするための方程式・

Weekend Folkehøjskole は閉塞感が漂う我が国の将来を如何にして築いていくか、社会福祉先進国デンマークに学び考える実践型短期宿泊形式の研修塾です。会員の方に限らず、当研究所の活動にご賛同下さる一般の皆様のご参加も心よりお待ち申し上げます。なお詳細は、ホームページにも掲載しておりますのでぜひご覧下さい。

## 教育の質が民主主義の質を決める ～デンマークの教育に学ぶ～

第4回研修塾は今までの3回とやり方を変えて、

A 全日程(2泊3日)の参加者

B 第2日目午後のシンポジウムだけの参加者を募集し、下記により開講します。

☆開講日：2013年11月15日(金)～17日(日)

☆会場：シンポジウム 京都テルサ

その他の研修 関西セミナーハウス

☆募集人員：A 研修施設の関係で先着20名を予定

：B 会場の関係で先着50名

☆参加費用：A 33,000円(会員30,000円)

※研修・宿泊・食費含む。飲み物代は別です。

：B 2,000円(学生は1,000円)

研修内容：

15日 15時集合 オリエンテーション 懇親会

16日 13時から17時シンポジウム

A 午前講義 夕食後グループワーク

17日 グループワークの発表 昼食後解散

☆申し込み・問い合わせ先：当研究所事務局

E-mail：[masashimaeda@hotmail.com](mailto:masashimaeda@hotmail.com)

Fax：0475-44-4310

☆募集期限：2013年10月15日(木)

同封の申込用紙または同様の書式にてお申し込みください。

定員内の希望者には振込用紙をお送りします。また定員外の方には、その旨ご連絡申し上げます。

発行所

〒292-0801

千葉県木更津市請西4-6-9

Tel:0438-36-3565

お問合せTel:090-9827-9262

茂木俊郎

NPO法人ホームページ

<http://www.djsli.com>